

29. ヘビノネゴザ群落

(相観)一煙害跡地の落葉性シダ群落

足尾銅山の煙害地は広範囲に及び、亜硫酸ガスの被害が想像以上に激しかったことを物語っている。この煙害地の中で本山製錬所に最も近い地域(間藤地区)にヘビノネゴザの群落がみられる。この草は重金属を吸収する特異な性質をもち、製錬所周辺の銅で汚染された地域に密に繁茂している。前回の調査ではリョウブーヘビノネゴザ群集として図示したが、ヘビノネゴザ群落とリョウブ林とは少し性質がらがう点があるので、今回は二つに区別して図示することにした。ヘビノネゴザ群落は最も銅汚染の強い土壌と結びついている。

30. ニシキウツギーノリウツギ群落

(相観)一夏緑広葉樹の低木林

本地域は高原山の東側、高度1,000 mから1,300 mにあつて、自然休養林及び牧場となっている。

周囲をミズナラ、ダケカンバの林に囲まれ、ノリウツギ、ニシキウツギ、レンゲツツジなどが優占しているが、区域全体を見ればズミ、ダケカンバ、ダケモミなどが侵入しておりまたそれらの稚苗も見られることから安定した群落への移行が認められる。

しかしながらレンゲツツジを残し他の低木を抜き伐りをしているなど今後も人為群落として存在すると思われる。

35. モミ群落（モミ—シキミ群落）

（相観）—常緑針葉樹の高木林

八溝山脈の植生調査をした際、筆者はモミの天然林が三箇所残っているのを確認した。何れも面積は小さいけれども、よくモミ林の組成上の特徴があらわれていた。その三箇所とは、那須の雲巖寺、鷲子山頂及び松倉山頂の三箇所である。これらの残存する天然林によって、かつて八溝山地全域に広くモミ林が分布していたと考えることができる。日本全国のモミ林は鈴木時夫によりモミ—シキミ群集と名付けられている。この群集の標徴種として、モミ、カヤ、イヌガヤ、シキミシラキ、ジャノヒゲをあげることができる。モミ林の組成表には多くの場合、暖温帯スダジイ群団の標徴種となっているアカガシ、ウラジロガシ、ツバキ、アオキなどの常緑広葉樹種が含まれている。したがってモミ林を照葉樹林（ヤブツバキクラス）に含める考え方も可能である。一方、植生分類の立場をはなれて別の見方をする事も大切である。これは鈴木時夫の晩年の見解によるものであるが、モミ林は冷温帯落葉樹林と暖温帯照葉樹林のはさみうちにあって、両森林帯の中間に顔をのぞかせる第三紀の遺存種とする考え方である。モミの外に天然のツガ林、スキ林、ヒノキ林などもこのような視点からながめてみると、これの森林には個有の標徴種を見出しにくいという事実も納得のいくところである。

36. ツガーコカンスゲ群集

日光—足尾を結ぶ細尾峠から地藏岳に至る尾根の北面斜面は、ブナ

ーミヤコザサ群集によって大方がおおわれているが、数条の小尾根にツガ林が分布している。大谷川に面する斜面には、イチイの分布がとくに多いことが知られている。

37. フサザクラ群団

(相観)ー夏緑広葉樹の亜高木林

塩谷郡栗山村湯西川の植生調査をした際に支流をさかのぼると、フサザクラ林が沢沿いにつづいている事実を確めた。この附近の広葉樹林はほとんどコナラを主体とする二次林であったが、沢筋に限ってフサザクラを優占種とする別の組成をもつ森林が存在する。

この森林も沢筋に発達するため、林床植物はアカソの優占度が著しく高い特徴を示した。アカソはミズナやモミジガサと共に著しくカルシウム含有量の高い植物であって、この草の優占度が高いということは林地がきわめて肥えている証拠でもある。フサザクラ林もまた谷筋を代表する群落であるが、前述のサワグルミ林と共に養分に富んだ立地を表わしていると云える。

38. 河辺ヤナギー低木群落

(相観)ー夏緑広葉樹の低木林

本群落は箒川の中洲の砂礫層の上にあつて増水時は冠水し表土は流失する環境にある。

毎年発生する洪水からのがれ得たイヌコリヤナギ、タチヤナギ、オオバヤナギ、などが点在し低木層にやつと流失に耐え生きのこっている。イヌコリヤナギ、カワヤナギなどがありススキもともなっている。

冠水からのがれている高地にはアカマツが侵入しはじめている。
遷移途上初期の不安定な群落である。

39. コナラ群落

(相観)ー夏緑広葉樹の亜高木林

関東ローム地帯の農家では、毎年堆肥を作る必要から、また薪炭用の給源林としてアカマツ、コナラ林を大切に管理してきた。農用林としてコナラ林は必要欠くべからざる存在であった。堆肥づくりはまず落葉さらいから始まるが、この際、鎌で低木を刈り払うから、多くのコナラ林では低木層を欠き、草本類もまた刈払いの影響をうけない丈の低いスゲ類(ヒカゲスゲ、クロヒナスゲ、アズマスゲ)が次第に増えることになる。

栃木県の洪積台地に立つコナラ林の林床にはヒカゲスゲの他、ヒメヤブラン、ミツバツチグリが常在種となっている。低山帯のアカマツ林では落葉さらいが行われることが少いので台地の場合といくらがちがった組成を示す。(43. アカマツ林を参照)

43. アカマツーヤマツツジ群集(ヤマツツジーアカマツ群集)

(相観)ー常緑針葉樹の高木林

関東ローム地帯を代表する森林はアカマツ林である。アカマツ林の亜高木層にはコナラ、クリ、エゴノキが常在種となっていて、もし高木層のアカマツを伐ると、コナラ林となる。

栃木県のアカマツ林は林床優占種のちがいから三つの亜群集に分けられる。尾根すじの土壌の浅い部分に数多くのツツジ類が密生してい

る植生がバイカツツジ亜群集、林床にクロヒナスゲの多い玉生山地、足尾山地のアカマツ林はクロヒナスゲ亜群集である。八溝山地および中央部の関東ローマ台地ではヒカゲスゲがアカマツ林の林床に多く出現する。これがヒカゲスゲ亜群集である。

アカマツ林の中で亜高木層あるいは低木層に常緑広葉樹をもつ組成群をアカマツヤマツツジ群集のヒサカキ亜群集として区別する。この亜群集の識別種はヒサカキ、ウラジロガシ、ヤブツバキ、ヤブムラサキ、ヤブコウジ、テイカカズラ、ミヤマシキミなどである。その領域は県南に集中し、足尾山地および八溝山地の南縁部にあたる。これらの識別種はいずれも照葉樹林の標徴種であって、最も北にまで分布をひろげている種類といえることができる。見方をかえれば、人為の影響を強くうけたアカマツ林領域の中で照葉樹林の名残りを留め、人為の影響がなければ照葉樹林に移行し得る可能性をもった地域であると言えよう。

また落葉さらいが行われる低山帯のアカマツ林とそうでない洪積台地のそれとではいく分違った組成を示し、低山帯では低木層にヤマツツジの優占度が高く草本層ではクロヒナスゲ、タガネソウ、チゴユリの三種が常在種となっていることである。

44. ツルコケモモーミズゴケクラス

(相観) - 高層湿原群落

奥日光戦場ヶ原と奥鬼怒の鬼怒沼は高層湿原として有名である。戦場ヶ原のそれは1964年に館脇、石塚らによってくわしい調査が

なされている。それによればこの高層湿原の中心をなす群落はオオアゼスゲ群集とホロムイスゲーヒメシャクナゲ群集である。ホロムイスゲーヒメシャクナゲ群集の組成は次の通りである。(測定数10)

常在度	優占度範囲
ホロムイスゲ	3～5
ヒメシャクナゲ	2～4
ツルコケモモ	2～4
ホザキシモツケ	+

常在度	優占度範囲
ヌマガヤ	＋～1
レンゲツツジ	＋～1
ワタスゲ	＋～1
エゾヤパネゴケ	＋
タチサヤスギゴケ	＋
コアカミゴケ	＋

オオアゼスゲーヤチスゲ群集の組成は次の通りである。(測定数10)

オオアゼスゲ	＋～4
ヤチスゲ	＋～4
ツルコケモモ	1～3
ヒメシャクナゲ	1～3
コシロネ	＋～1
ホザキシモツケ	＋～1
カナダソリハゴケ	＋
ホソバミズゼニゴケ	＋
ゼンマイゴケ	＋
ワラミズゴケ	＋～3

46. ツルヨシ群集

(相観)一夏緑草本群落

ツルヨシを優占種とする河川の群落は湯西川の本流に限られているような印象をうける。本流の砂地にネコヤナギを主体とする低似群落が発達し、ネコヤナギ群落の中で最も流れに近い部分にツルヨシを主体とする陽性の植物群落がみられる。その構成種はヨモギ、オオバコ、カワラハハコ、テキリスゲ、クサイなどである。(第3表)

48. スギ, ヒノキ, サワラ植林

(相観)一常緑針葉樹高木林

スギ植林

スギとヒノキは日本の最も重要な道林木である。一般にスギは谷すじに、ヒノキは山腹に植え分けられている。したがってスギ林の林床には谷すじに特有の低木や草本が多数見出される。例えば低木層にはウリノキ、コアカソ、ムラサキシキブ、ハナイカダ、コクサギ、タマアジサイなど、草本層にはミゾシダ、コチヂミザサ、キバナアキギリ、ゼンマイ、ダケゼリ、ハウチャクソウ、モミジガサなどである。しかしこれらの種類も全国的な視点で比較してみると、スギ人工林に特有な標徴種はなくなってしまう。一方スギの上部に植栽されるヒノキ林でも、後述のアカマツ林の組成と共通する種類ばかりで、ヒノキ人工林特有の標徴種を見出すことは不可能に近い。

栃木県はスギ、ヒノキ人工林の造成がさかんな県である。前述のように足尾山地、八溝山地がその中心地である。足尾山地の中でもとくに日光、今市市を中心とする低山帯はスギ造林で密におおわれている。

この附近は雨量が多いこと。また谷すじの崖錐地がスギの造林に好適な立地条件を与えていることが大きな要因である。

49. カラマツ植林

(相観) - 夏緑針葉樹の高木林

日光，高原，那須各火山の山腹，山麓地にはカラマツ人工林が広くみられる。カラマツは山地帯の造林にとって，ほとんど唯一の造林樹種となっている。このカラマツは火山地の土壌では比較的容易に成林するので，他の樹種はほとんど問題にされることがない。